

ケアマネ通信おびひろ

第52号

目次

1. 平成28年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会
2. 平成28年度帯広市介護支援専門員連絡協議会「公開講座」
3. 北海道介護支援専門員協会研修会
4. 平成28年度 研修会「ケアマネジメントにおけるリハ職（他職種）との連携」
- 5・いやしのオフタイム
- 6・ケアマネの輪

平成28年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会

平成28年5月18日（水）にグリーンプラザ大集会室にて平成28年度定期総会が開催されました。多くの会員の方に参加して頂き、昨年度の活動報告と決算が承認され、今年度の事業計画・予算を審議決定し、新役員を選出しました。

また、今年度の総務・研修部員の紹介も行っています。



平成28年度役員体制

役職	氏名	所属事業所	
名誉会長	小関 純一	小関内科医院	
顧問	笠松 信幸	かさまつケアオフィス合同会社	
会長	渡辺こづ江	地域包括支援センター愛仁園	
副会長	濱 功之	介護老人保健施設あかしゃ	
	佐藤 勇宏	居宅介護支援事業所はるか	
幹事	総務部	部長 金井 正樹	地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会
		副部長 上田 綾子	ジャパンケア帯広南
		副部長 藤本 和美	居宅介護支援事業所すみれ
	研修部	部長 白木 良和	特別養護老人ホーム帯広心寮
		副部長 尾矢 隆一	ケア・コンシェルジュ シルバーウイング
		副部長 福田 美雪	指定居宅介護支援事業所向日葵
監査	荒 浩美	開西病院在宅ケアセンター	
	後藤 和子	J A 北海道厚生連帯広厚生病院	

公開講座「ケアマネジメントと多職種連携」

平成28年5月21日（土）に開催された公開講座では、あたご研究所の後藤佳苗氏を招いて、ご講演をいただきました。

ケアマネジメントの定義に始まり、自分の役割は何か？など多岐にわたる内容でした。

社会資源の活用では、支援を必要とする高齢者の「できないこと」を補うのではなく、「できること」を十分に活用しながら多様な社会生活へ参加を促すことにより、満足度の高い生活の構築を目指すというものでした。

社会資源は、介護保険制度ばかりではなく、地域住民の支援、医療、市町村独自の政策もさまざまなものがあり、必要に応じて活用していくことが求められていることを学びました。

多職種連携のためには、ひとり一人が内なるリーダーシップを発揮することが必要であり、自分のキャラクターを理解することも大切であることです。私はグイグイ引っ張っていけるリーダーには向いていないので、せめて脇からそっと支えるリーダーであり続けたいと思いました。

ケアマネジメント過程の法令根拠の確認、居宅介護支援の一連過程の運営基準については、クイズ方式で模擬事例などをグループの皆さんと再確認をしながら、楽しく学ばせていただき、混乱中の私にはとても良い機会となりました。

ひとりケアマネの私にとっては相談できる人もいなく、不安な毎日を過ごしているため後藤先生の本にはいつも助けていただいています。経験の浅い私が仕事をしていく上で欠かせない知識、情報がすべてとてもわかりやすく書かれてあるので困った時にいつも開いています。公開講座に参加し、本当によかったと思います。

はるす ケアプランサービス 神田 佳奈恵



北海道介護支援専門員協会研修会 「課題整理総括表と評価表の書き方・活用法」

北海道介護支援専門員協会第1回研修会に出席させて頂き、ありがとうございました。

今、介護支援専門員の資質とあり方が問われています。資質の向上のための課題整理総括表は、状況の事実と要因の分析、整理ができる。またアセスメントの不十分なところを補える。改善維持の可能性と見通しを多職種からケアの方法など助言を得る、方向性を共有する。地域課題を検討する目的で活用されていきます。課題整理総括表や短期目標期間終了時の評価表を自分が活用出来るようになるためにも繰り返し書き方や進め方を理解していこうと思っています。今年度から法定研修でこの表を活用していくことになっているとのことでした。

研修会の中で、利用者1割負担を反対など国に対して意見が言えるように協会に入会するようお話もありました。

指定居宅介護支援事業所愛仁園 児玉 源照

ケアマネジメントにおけるリハ専門職（多職種）との連携

～連携の要点とICFの活用～研修会に参加して

指定居宅介護支援事業所 向日葵 山本佳子

今回の研修会は社会福祉法人 宏友会 地域連携室推進部の菊池伸様に講義を頂き、8部の資料をベースに研修が行われました。最初に厚生労働省から提示されているリハビリテーションマネジメントに関する基本的な考え方や関連する各加算の算定方法についての解説がありました。利用者様が退院後等、リハビリ目的でデイケアの希望された場合のアセスメントの視点等詳しく学ぶことが出来ました。

デイケア等で行われているリハビリテーション会議の目的や概要について話では、リハマネジメント加算ⅠとⅡの会議の参加者の違い、会議時の参加者の役割分担についても、わかりやすく説明を頂き自分がCMとして会議に参加するに当たっての留意点を確認することが出来ました。

様態別プログラムの実践の講義では、軽度者、中重度者、ターミナル期の各リハビリの専門職の関わり方、医療職との連携について資料を交えながら説明があり、利用者様の身体状況、日常生活、必要な医療処置等のニーズに合わせて各セラピストが役割分担を行い、リハビリプログラムを組み立てて、実行することが重要であることがわかりました。

演習では、4名程度のグループに分かれ3つの事例についてICFの表を用いて予想される健康状態や、心身機能・身体構造等、各因子について検討を行いました。（事例1. 夕方になると子供が帰ってくるので家に帰りますと何度も話される利用者様。事例2. 最近、排泄行為に介助が必要となり、トイレ誘導を拒否する行為も見られているAさんについて 事例3. 自宅では洋式トイレで自力で排泄しているが、デイやSS利用中は同じ洋式トイレであるのに、失禁することが多くなったBさんについて）この事例検討の際に図を参照に見ながら「立つ、座る、紙を手取る等、排泄動作の一連の活動の流れを細かく区切り、本人の行動に照らし合わせて検討すると、何が行動の弊害となっているのかが明確になりやすい」と先生がわかりやすく解説していたのがとても印象的でした。

事例検討ではICFの考え方を活用することにより、利用者様のストレングスや支援すべき点が明確となり、多職種が関わることによって、より深い検討が可能になることがわかりました。

今回の研修会に参加させて頂き、自分がCMとして仕事をする上で多職種の方々との関わり方についても、勉強するよい機会となりました。

講師の菊池先生、研修部の役員の皆様、ありがとうございました。



指定居宅介護支援事業所向日葵 福田美雪

みなさん こんにちは。いつもお世話になっております。

仕事中は『法令順守』『依頼を受けたらすぐに動く』をモットーにしていますが、実は、とても面倒くさがりやで、休みの日は朝から晩までゴロゴロし、いい加減な家事を行ない、昼間からビールを飲むことを楽しみに、毎日働いています。

家族からは『そんな生活で、おじいちゃん、おばあちゃんの困ってる事、助けてあげれるの？』『まじめに相談にのってる？』と心配されております。(泣)

高齢者の方とかかわる中で、家族の希望や目の前の心配事はお伺いしても、真の生活の意向や、隠されたニーズを受け止める事は何年この仕事をしていても難しいと感じています。

何年か後に・・・もし こんなダラダラな私を担当して下さるケアマネジャーさんがいたら、『運動しないと歩けなくなりますよ』『ビールもタバコも身体に悪いので止めて下さい』なんていわれたら、すぐに、閉じこもりになってしまうでしょう。

うまい具合に、『ビアガーデンに行きたいですね』『パチンコで大もうけして、玉をこぼさないように運ばなくちゃね』なんてリハビリに誘っていただけたらホイホイと出かけていくかもしれません。

自分だったら、家族だったら、どんな風にアドバイスもらったら、同じ目標に向って歩んでいけるのか常に考えながら仕事に励みたいと思います。

そして、休みの日はゆっくりと自分なりの休息を楽しんでいきます。

(飲み屋さんやパチンコ屋さんで見かけたら声をかけてくださいね！)

ケアマネの輪

帯広けいせい苑居宅介護支援事業所はるか 渡部明美

こんにちは。帯広けいせい苑居宅介護支援事業所はるかの渡部明美と申します。

この6月に丸9年いた地域包括支援センターから居宅に異動となり、長年、毎日]
を訪問でひた走っていた環境から、現在は市内、隣町などをまわらせて頂く環境となつて、
メンバーの皆さんに優しくご指導して頂き、楽しく毎日をご過ごさせて頂いています。業務に慣れるのには今は精一杯ですが、一日も早く戦力になれるようにと思っています。

長く包括におりましたので、初めのころはよく噴き出されていましたが、電話を受けた時や挨拶の時も「居宅はるか」というのがやっと慣れてきて、馴染みの事業所の方たちにも笑われなくなりました。

まだまだ馴染まないかもしれませんが、これからも皆さんにたくさんお世話になると負います。今後ともよろしくお願い致します。



【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

- ★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。
- ★会員への情報配信は可能な限りメールでの配信をお願いいたします。メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。
- ★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、ホームページから入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。
(事務局：帯広市社会福祉協議会 金井)

～編集後記～

北海道日本ハムがパリーグを独走状態だったソフトバンクと首位争いをするようになり、プロ野球が更に面白くなってきました。生で試合を見に行けないのが残念でならない毎日を送っていますが皆さんも日本ハムの快進撃を応援していきましょう。
約2年にわたり、ケアマネ通信の編集をさせて頂きましたが、この52号が最後の編集になります。急な原稿依頼にも快くご協力を頂いた皆様、そして毎回ケアマネ通信を見てくださっている皆さま本当にありがとうございました。 編集長 TS